

『夏まつりの開催』 文化部

8月6日(土) コロナ禍で従来のお祭りでは感染対策が困難と判断し、初めての試みとして花火大会を実施いたしました。事前に参加受付を行い、会場の全員が2週間前から「健康チェックシート」を作成・提出していただき、スタッフを入れると総勢220名で開催いたしました。

落下傘花火の爆音で始まり、小さなお子さんは驚きで泣き出す一幕もありましたが、終始子どもたちの歓声と拍手の中、会場は大盛り上がるの内に無事終了することが出来ました。反省点としては、子どもたちの声援で役員のテンションが上がってしまい、着火スピードが速くなり予定時刻より早く終了してしまったことです。

また、19時30分より野幌若葉小学校のグラウンドをお借りして、野幌若葉自治会ゆかりのある花火師さんにより花火を上げていただきました。住宅街での大輪は、音と光の大迫力で日頃の疲れも吹き飛びました。今回、短い時間ではありましたが、会員の皆さまより好評をいただき、来年はもっと長い時間楽しんでいただけるよう企画したいと考えております。

(総務部 笹掛誠 記)



『野幌若葉ウイングスによるボランティア活動に感謝』

7月2日(土) 野幌若葉ウイングスミニバスケットボールスポーツ少年団の団員とその家族による“とちのき公園ゴミ拾い”のボランティア活動が行われました。当日の練習後、日頃使用している公園のゴミや小枝など、利用者が安全で気持ちよく利用できるよう実施しました。暑い中、本当にありがとうございました。自治会として、子供たちの応援を継続して実施したいと思っています。今後のチームの活躍を心より祈念いたします。

(総務部長 松浦実 記)



『フラワーアレンジメント講習開催』 女性部

7月3日(日)にフラワーショップいしざかより講師の先生をお招きし、フラワーアレンジメント講習を3年ぶりに開催いたしました。おしゃべりをしながら賑やかに!したいところを、感染対策のためと我慢して黙々と作品作りに熱中した結果、参加者17名の素敵な作品が完成いたしました。

今回は日曜日開催とした事で、幅広い年齢層の方々にご参加頂くことが出来ました。女性部主催ではありますが、年齢性別問わず多くの会員の皆様楽しんで頂けるよう今後とも工夫をして参ります。

(女性部長 長谷部雅美 記)



『第2・3回地域交流の集い開催』 社会福祉部

「地域交流の集い」は、コロナ禍で閉じこもりがちになるひとり暮らしの高齢者の方などのフレイル(心身の働きが弱まる状態)予防のお手伝いが出来ればと考え、感染対策をしっかりと行ない実施いたしました。

7月23日(土)は、大正琴サークル・ハーモニーの皆様が9台の大正琴で奏でる華麗な調べを披露して下さいました。参加された29名の方々は”ああ人生に涙めり””星のフラメンコ”などの歌謡曲や”バラのタンゴ”などの懐かしい曲を聴きながら、手拍子をしたり一緒に口づさんだりして楽しい時を過ごされていました。



8月20日(土)は、有志の方がひょっとこ・おかめや大仏さまのお面をつけ、法被や着物姿で”日向ひょっとこ踊り””ドドンパ節””おこさ節”を披露して下さいました。参加された31名の高齢者の方々も、なるこを鳴らしたり手拍子しながら楽しい時間を過ごし、最後は”北海盆唄”を一緒に踊って夏祭り気分で盛り上がりました。

お面をつけ汗びっしょりで踊って下さった有志の方々、本当にありがとうございました。(社会福祉副部長 山本滋子 記)



『会館運営委員会準備委員会の開催』 会館運営部

7月2日(土) 第2回会館運営委員会準備委員会を三役・会館運営部・会計部長と総務部で実施いたしました。第1回の検討事項の報告と対策案について再検討を行い、理事会にて審議するための資料等準備を進めてまいりました。小田島会長より、築50年が過ぎ使用を中止した会館と建替えを決定した自治会の紹介があり、建替えする自治会は銀行より借入をしているとのことでありました。

会館については、近い将来建替えを含めた検討が必要になることから、使用を続けるためにはどうすべきか検討してまいります。

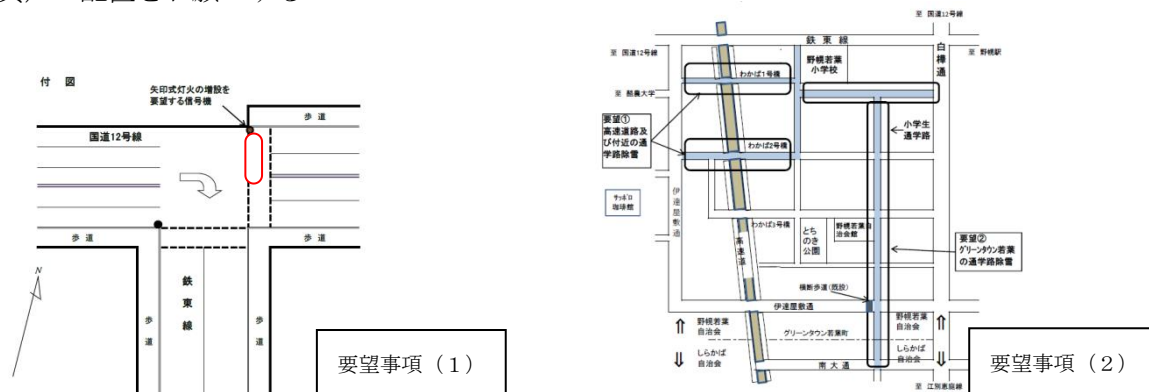
- ・老朽化が原因の事故・災害時の賠償責任について、自治会館は自治会所有であることから自治会員全員(1,200戸)の連帯責任となる
- ・点検・整備を行わないで建物を使用し事故が起きた場合、損害保険は適用されない
- ・東日本大震災後に建物診断を実施したが、診断結果の証明書の発行がなかった

『令和4年度要望会議を開催』

8月20日(土) 令和4年度の要望委員会を開催いたしました。毎年各区の要望を取り纏めてきましたが、平成29年度以降の要望と回答が全く同じであったため、今年度は内容を精査して提出することとなりました。信号機・横断歩道の増設は、道路の構造上困難な箇所であったり、自治会からの要望で無いものもあり、下記の項目に絞られました。今後も地域の諸問題について、ご意見・ご要望を取り纏めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

<要望事項>

- (1) 国道12号線から鉄東線に入るT字路の時差式信号機に矢印式灯火の増設
- (2) 野幌若葉小学校通学路の除雪について(児童の安全確保)
 - ① 高速自動車道に架かる『若葉1号橋』『若葉2号橋』及び付近の歩道
 - ② 野幌若葉自治会館横のわかば小学校の通学路
 - ③ 野幌若葉小学校前の歩道及び小学校横の横断歩道
 - ④ 児童の下校時間と除雪時間が重ならないように要望します。重なる場合は、警備員(誘導員)の配置をお願いする



若葉子供見守り隊員募集!!

「気楽に・気長に・危険なく」をモットーに普段の生活の中で野幌若葉小児童を守る安心・安全活動を続けています。活動に参加したい、興味がある方は、各区長または生活安全部まで気軽にお声掛け下さい。

生活安全部 連絡先：野幌若葉自治会館 電話：011-384-4410

『第2回理事会の開催』

9月10日(土)第2回の理事会を開催いたしました。

議題の審議では、コロナ禍で文化祭を開催した場合の感染防止対策が難しく、部会提案として演芸は中止し展示のみで、会場を「サッポロ珈琲館」とした事から多くの意見がでました。コロナ禍でも、会員皆さまの交流の場を設けるため初の試みで実施する事としました。また、会館運営についても多くの意見が出され、利用者の安全、地域の拠点をどのように守るか熱い議論が交わされました。



<議 題>

(1)自治会館の今後について（会館運営部）

- ・老朽化が原因の事故・災害時の賠償責任について、自治会館は自治会所有であることから自治会員全員1,200戸の連帯責任となることから、自治会館の劣化診断を実施する
- ・会館が原因の事故・災害に備え、損害保険に加入する
- ・劣化診断の結果から、今後の会館運営を検討する

(2)夏祭りの報告（文化部）

- ・想定以上の参加申し込みであった。子ども90名、大人80名、準備スタッフ50名
- ・皆さまのご協力により、トラブルなく終了できた
- ・花火の数が少なかった。次年度の課題としたい

(3)文化祭について（文化部）

- ・コロナ感染防止対策が困難として作品展示のみ、サッポロ珈琲館の展示スペース利用
- ・展示期間は11月3日～11月27日、申込者多数の場合は入替も検討する

(4)その他

- ・社会福祉部：長寿祝い金について 対象者41名
- ・女性部：11/20 出前講座「コーヒー教室」実施予定
- ・環境部：防犯灯電気料金補助を配付
- ・生活安全部：要支援者名簿（更新）を配付。11/17 小学校と見守り隊懇談会実施予定

『春秋クラブ（高齢者クラブ）会員募集のお知らせ』

野幌若葉町に在住の60歳以上の方なら、どなたでも加入できます。豊かな経験と知恵を活かして、楽しいクラブ作りにご参加下さい。主な活動内容は、カラオケ・簡単体操・脳トレ・カラオケ・パークゴルフ・カーリンコンなどです。 クラブ会長 市岡裕 電話：383-4690

自治会.JP
江別市自治会連絡協議会



「広報わかば」を含む各種情報が掲載されています。パソコン・スマホから、ご活用ください。

EMC 自治会活動 : <https://jichikai.ebetsu.org/>